

平成27年12月11日

インターネット等の広域分散システムの 耐災害性・耐障害性の検証が可能に

～日米11大学による“秒単位”の災害復旧検証プロジェクトが始動～

大阪大学を中心とする研究プロジェクトチームが、地理的に離れた複数のコンピュータをネットワークで結合して構築する広域分散システムの耐災害性、耐障害性を検証するプラットフォーム「DESTCloud」（デスククラウド）を開発しました。国内外の複数の研究機関からなる広域分散仮想化環境を利用したこのプラットフォームは、組織間を相互接続するネットワークに対して意図的に障害を発生させることで、広域分散仮想化環境上で動作するシステムの耐災害性や耐障害性を検証することができます。

本プラットフォームでは地震に限らず、広範囲に同時多発的に発生する様々な災害を想定し、通信インフラが被る被害から障害を想定することにより、多様な災害シナリオを用いた訓練を行うことができます。

本件について、ぜひ貴社媒体で取り上げていただきたく、よろしくお願い申し上げます。

参加する日米の11拠点

大阪大学（主幹校）、金沢大学、京都大学、**高知工科大学**、国立情報学研究所、東北大学、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学、DESTCloud 札幌 DC、DESTCloud 沖縄DC、カリフォルニア州立大学サンディエゴ校

本研究成果のポイント

- インターネットに代表される広域分散システムの耐災害・耐障害を検証する基盤を構築
- 様々な災害・障害を想定した検証は、人的コスト等の観点から実施が難しかった
- 複雑な障害や同時多発的に障害をもたらす大災害を模した訓練をすることが可能
- 人的コストを抑え、災害回復システムや事業継続計画の内容の妥当性や投資対効果が評価できると期待される。

本研究成果が社会に与える影響

- 様々な災害のシミュレーションをベースにした災害シナリオを生成することができる。
- 様々なネットワーク機器に対して災害シナリオをもとにした障害を実装することができる。
- 指定した時刻に障害を発生・解除することができ、その前後のネットワーク情報を収集し観察することができる。

【本研究に関するお問い合わせ】

高知工科大学 地域連携機構
スケールセンシティブ地域産業研究室 教授 菊池 豊
TEL.0887-57-2025 FAX.0887-57-2026
E-mail : org@ml.kochi-tech.ac.jp

【取材に関するお問い合わせ】

高知工科大学 総務部総務企画課 森・藤波
〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
TEL.0887-53-1080 FAX.0887-57-2000
E-mail : kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp